

しみんけんきゅうニュース

発行:(公財)千里リサイクルプラザ 市民研究所 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530 <http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>

環境問題講演会



【目次】

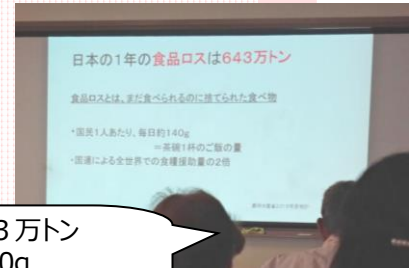
- P2-3 吹田ごみ物語改訂版の作成・発行
- P4-5 環境問題講演会 9/15(服・食品ロス)
- P6 第6回環境スクール 8/10
- P7 第7回環境スクール 8/24
- P8 11・12月の予定

9/15 プラザ講義室
講師 仲村和代氏
(朝日新聞社記者)

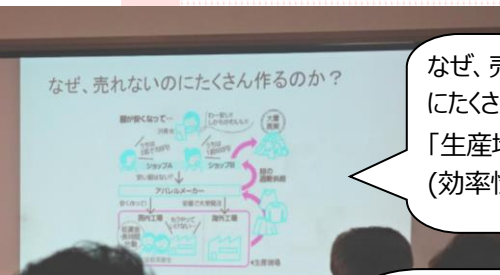
大量廃棄、
これでいいんですか?



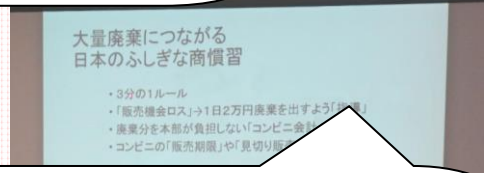
日本で1年に捨てられる
新品の服の数 10億枚



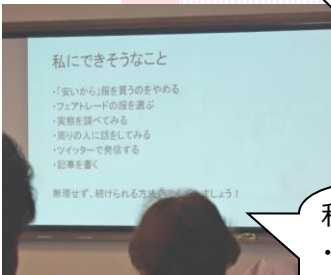
日本1年の食品ロスは643万トン
・国民一人あたり、毎日140g
・国連による全世界の食料援助量の2倍



なぜ、売れないのに
たくさん作るのか?
「生産地に大量発注
(効率性)されるから」



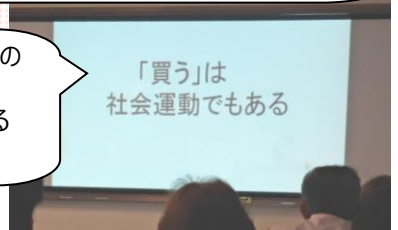
大量廃棄につながる日本の商慣習
・3分の1ルール
・「販売機会ロス」→1日2万円廃棄を出すよう「指導」
・破棄分を本部が負担しない「コンビニ会計」
・コンビニの「販売期限」や「見切り販売」NG
不思議な商慣習は消費者心理の裏返し?
・少しでも新しいものを「棚の後ろから」
・店に求める豊富な品揃え ・ちょっとしたことで炎上



なぜ問題にならなかったのか?
・海外なので労働問題として認識されづらい ・データ不足
・他のごみ問題くらべて有害性が見えない
・リサイクルされているからそれでいい?

私にできそうなこと
・「安いから」服を買うのをやめる
・フェアトレードを選ぶ
・調べる ・話してみる ・発信

消費者が変われば食品業界の
商慣習も変えられる
「無駄」の裏には「無理」がある
「買う」は社会運動でもある



第18回

11月9日(土)9:00~

万博ごみゼロウォーク

今年も恒例万博ごみゼロを開催します
万博周辺をごみ拾いしながら一周します。
秋空の下、気持ちよく歩きませんか?
無料・当日参加可です。

参加者募集中!



仲村氏におかれては
服と食品の廃棄構造を
解説され、最後に
「買う」は社会運動であると
示していただきました。



1995年発行「吹田ごみ物語」改訂版の作成・発行に向けて

「吹田ごみ物語」編集PT 茶園 征也

このプロジェクトは、今年度3年目にあたり活動の最終年度であります。

当初編集後の成果物としては、下の写真のような「吹田ごみ物語」(第1版)のような製本したものを考えていました。



そのこと念頭に編集作業を進めてきました。編集した資料が研究員の学習支援に、または市民の環境活動に有効に活用されるには製本化するのがベストだろうかとメンバーで議論してきました。

そんな時、放送文化論やメディア論を専門に大学で研究、授業をされている主担研究員でこのプロジェクト活動を指導して頂いている黒田先生に意見を聞くことにしました。

今の学生など若者は、スマホやパソコンの「ライン」や「ブログ」等で情報を得ているということが多くと聞きました。

そこで、黒田先生の指導を受けながら「ブログ」に取り組むことになりました。

「ブログ」であれば、自分の関心のある情報だけを取り出して活用できます。それに紙資源の大いなる削減にもなります。

メンバーは皆高齢者であり、「ブログ」などほとんど未経験でありました。

「ブログ」を経験するため、試験的に黒田先生に資料を送り、「ブログ」に載せてもらい各自のスマホやパソコンで資料を見ることから始めました。

今では全員何とか「ブログ」で資料を見ることができるようになりました。

ただし、今はメンバー以外には「ブログ」を見ることはできません。

10月以降に正式に誰でも見ることできるようになりますので楽しみにお待ちください。



メンバー各自が担当した資料を順次「ブログ」にアップしてゆきます。

現在、各自の原稿のブラッシュアップを図っているところです。

環境問題の今話題になっているテーマをできるだけ優先して載せるつもりです。

現在のところ「ブログ」に載せる手順は次のように決めています。

- 手順 1. 原稿を作成する。
- 手順 2. 原稿を土屋先生に送りチェックを受ける。
- 手順 3. チェックの済んだ原稿は土屋先生から黒田先生に送る。
- 手順 4. 黒田先生が「ブログ」にアップする。

「ブログ」に関する注意点

- ①原稿の作成は、パソコンで作成するほうが望ましい。
- ②「ブログ」もパソコンが読みやすい。

「ブログ」に載せる原稿の簡略版を先ほど発行された研究報告書（第26巻 第1号）に掲載しました。

この中で一番完成度が高く、なお多くの紙面を割いている三沢氏のテーマに対する思いを以下に記します。

今なぜ「リサイクル率」～「生ごみ」か？

1. 活動テーマに選定した理由：

（研究報告書、第26巻、P53を参照）

- ・「吹田市一般廃棄物処理基本計画 後期改訂版」（2017年3月発行）によりますと、吹田市のごみ排出量を2010年度実績 949 g/人日から2020年度年度目標 788 g/人日へと17%削減させ、リサイクル率は同じく15%を24%へと9%向上させる、と計画しています。

（参考）全国中都市（人口10万人～50万人）のトップ3都市の平均値は、ごみ排出量は642 g/人日、リサイクル率は50.6%です。（環境省 H28年度一般廃棄物の排出及び処理状況）

- ・一方「吹田市環境白書 2017年度版」では、ごみ排出量実績は842 g/人日で、目標まであと5.7%削減すればよいのですが、リサイクル率実績は15.6%で、目標まであと8.4%向上させる必要があり、かなり厳しそうです。
- ・以上より吹田市に関しては、ごみ排出量削減（リデュース）より、リサイクル率向上の方が目標達成はより困難そうですが、挑戦すべき価値はあると考え、活動テーマに選定しました。

2. 活動テーマの具体的な検討と進め方：

- ① 最近吹田市はリサイクル率向上施策を強化しつつあります；例えば「市報すいた、2019年3月号、P8～9」によれば、「2019年4月から条例で持ち去り禁止を決定し、違反すると氏名等の公表、20万円以下の罰金が科され、巡回パトロールも強化する」としています。また持ち去りが横行すると、「せっかく分別しても意味がない」と（市民の）分別意識の低下を招き、「リサイクルの仕組みが成り立たなくなる」と訴えてもいます。

この施策の結果を注目したいと思います。

また、「持ち去り禁止」が徹底されて、市の破碎選別工場の負荷が増えてないか追跡します。

- ② 一方、現在燃焼ごみの40%を占める「生ごみ」を燃やさずに全て有効利用できれば、リサイクル率は大幅に向上します；具体的には、現状吹田市のリサイクル率15.6%は48.5%まで向上するとの計算になり、これは全国中都市のトップ3都市と同レベルになるのです。

- ③ 現在「ごみ物語 PT」では、「生ごみ」を汚泥等と混合してメタンガス化し、電力または燃料等の再生エネルギー化する方向で調査・研究しております。この「生ごみ」等のバイオ原料を使っての再生エネルギー化事業は、最近多くの自治体や企業でも実用化に向け取組中で、一部では実用化しつつあります。

- ④ 「ごみ物語 PT」では、吹田市でこの事業構想を採用・推進する場合の問題点と解決策を検討しております；具体的問題点としては 生ごみ回収方法、設置場所、資金確保、広域連携 等が考えられ、これらに対する具体的な解決策（案）も併せて、研究報告書 P58～に提案しております。皆さんの率直なご意見をお待ちしております。

3 持ち去りを禁止する資源物

- (1) アルミ缶、スチール缶などの缶類
- (2) びん類
- (3) 新聞紙、雑誌、段ボールなどの紙類
- (4) 古着、シーツ、カーテン、毛布などの布類
- (5) 自転車、鍋、やかん、フライパンなどの金属類
- (6) その他、資源物を使用している物（家電製品等）



（吹田市 HP: www.city.suita.osaka.jp より）

環境問題講演会 「大量廃棄、これでいいんですか？」

エコ体験PT 三沢 輝紀

9月15日(日)プラザ講義室にて朝日新聞記者の仲村和代氏の環境問題講演会が上記テーマで行なわれ、市民研究員・環境スクール生・一般者等46名が参加されました。仲村氏は「大量廃棄社会

アパレルとコンビニの不都合な真実」(光文社新書2019年4月発行)の共著者です。プラザの西川理事長も“今日は生々しい話が聞けそうで、楽しみ”と挨拶されていました。

講演は「アパレルの話」「食品ロス問題」「消費者の話」からなり、要点は以下の通りでした。



1. アパレルの話

日本では約40億枚の服が供給されており、内10億枚が新品で捨てられています。売れないのになぜ作り捨てるのか？ 以下はその実情です。

① 「ブランドの価値」を守るため；バーバリーは売れ残りを値下げせず、年間41億円分を捨てていました。

② 「ファストファッション」は質もそこそこで安く販売；フォーエバー21等の海外のメーカーは、世界的分業体制で、企画～販売のサイクルを通常より大幅に短くすることにより、流行を反映したファッションを、大幅に安い価格で提供し消費者を引きつけて販売してきました。

③ これに対抗し国内アパレルメーカーも、技能実習生や海外の低賃金労働者を使って低コスト品を大量生産して、余剰品は新品のまま大量廃棄しています。

④ 「リサイクルされているから、それで良い」と考えて大量廃棄する⇒リサイクル品も今や飽和状態にあります。

これらの状況も最近変化のきざしが見えます。

1) バーバリー；世界から厳しい批判を受け売残り

品廃棄の即刻中止を2018年に発表しました。

2) バングラデシュの8階建て縫製工場が2013年に倒壊し多数の死傷者発生；世界にもショックを与え、糾弾する声と共に、救助活動が世界的にスタートしました。

3) 日本でも、消費者として何が出来るかを考える動きがはじめて来ました。⇒「3. 消費者の話」もご参照ください。



2. 食品ロス問題

① 典型的な例が恵方巻(寿司)問題；

現在「恵方巻を節分に食べる」習慣が定着する裏で、大量廃棄が問題になっています。

原因は各コンビニ店長のノルマ問題で(本部側はノルマを否定し目標と言い換えている)、売れ残り品を店長が多量に(例;40個)自腹買いしても残るので、大量廃棄することになるからです。

福を呼ぶ“幸せになるための習慣”のはずなのに“不幸になる人”が続出しています。

② 大量廃棄を生む原因=日本の不思議な商習慣；

i) 「販売の1/3ルール」の不思議；商品製造日から賞味期限日までの期間を3等分し、最初の1/3を「納品期限」とします。メーカーや問屋で在庫中の食品が諸理由で納品期限を過ぎてしまうと、ほとんど廃棄へ回されてしまいます。

中間の1/3や最後の1/3にも厳しい制約があり、それに外れると廃棄に回ってしまうのです。

ii) 「コンビニ会計」の不思議；品切れは「販売の機会ロス」と、食品の在庫を切らさぬ様指導されています。“コンビニでは2万円/日の食品廃棄は当たり前”がまかり通っていますが、この廃棄分を本部は負担せず、店長の自腹払いになります。

iii) 「コンビニの販売制限」の不思議；「見切り(値

引き)販売禁止」と指導され、正価で売れ残された食品は自腹払いで廃棄することになります。

③ この不思議な商習慣は「消費者心理」の裏返しでもあります。

- ・少しでも良い物は“棚の後ろの方から取る”!
- ・より“品揃えの豊富な店”を求める!
- ・チョットした“異物混入”にも炎上する!
消費者も反省が必要です。

④改善への動き;

i) 国全体での動き;

- ・本年5月に「食品ロス削減法」が成立しました
- ・「販売1/3ルール」見直しの動きも出ています

ii) コンビニ側の動き;

- ・「値引販売」や「予約販売」の導入の動きも
(例)ファミリーマートは土用丑の日に「うなぎ販売」を予約のみにしたところ、売残りもなくなり、店舗利益が7割増になったそうです
- ・「24時間営業の短縮」の動きも

iii) 消費者側の動き;

- ・私たち消費者が変われば、食品業界の商習慣も変えられる!との自信も出て来ています
- ・官庁や業界側も、表面は一見堅そうに見えますが、実はそうばかりではなく、最近は消費者の動きを結構気にしています

3. 消費者の話

① 「ムダ」の裏には「ムリ」があります;

誰か(例えば海外労働者)を「低賃金」で苦しめることで成立つ「低価格」により「お得」に走らせる「ムリ」をして「大量廃棄」という「ムダ」を発生させていますが、これで良いのですか?

② 「消費者の問題」は「労働者の問題」とつながります;例えば、今「コールセンターブーム」ですが、消費者からのクレーム多発のため、都会労働者を減らして、低賃金の地方労働者に移行していますが、これで良いのですか?

③ 「買う」は「社会運動」でもあります;投資家も、環境問題に対応する企業やベンチャーへの投資を検討しないと、やって行けなくなりつつあります。

④ これからの「良い消費者」とは「良いものを適正な価格」で買える消費者です;

もう「安ければ良い」だけでは駄目でしょう。

例えば万ーメルカリや商品交換マーケットに出しても買い手がつくようなしっかりした品を、それなりの価格で買うと言う流れも出てきています。

⑤ SDGs (持続可能な開発目標) をやって行きましょう;これは全ての人が当事者であり、皆さんへの問いかけでもあります。自分の買物の仕方を変える人が増えれば、企業も社会も変わって行くのです。



4. 仲村氏の講演は以上ですが、以下の一問一答がありました。

Q1:2018年の「日本の食品ロス量」は646万トで、食品全廃棄量に対するその比率は、事業系は約18%だが、家庭系は35%と高い。これを事業系並みに減らすにはどうしたら良いか?

A1:家庭で「安いから買っておこう」と過剰に備蓄するのも問題。試しに一日の食事量を測って、それに合った買い物をしてみると良い。

Q2:「食品包装の問題」で、作る方の問題は?

A2:例えば、紙のストローや新聞紙包装等の例を広げて行くとか。

Q3:学校では3R運動を「リサイクル」中心に進めているが、「リデュース」も大事では?

A3:リサイクルはエネルギーやコストも結構使うので、まずリデュースを優先すべき。

Q4:「良い物を適正な価格で買う」が結論だと思うが、その適当な例は?

A4:結構難しいが、一つは「透明性」。「どこで作られたものか」等を消費者が追求すれば、「この価格は当然だ」と、低価格でなくても納得して買ってくれよう。

5. 締めくくりに土屋所長より「今日の話は大変面白かったが、同時に我々にも大きな宿題が与えられた」等のコメントがありました。

講演後には、珍しく著書の販売会とサイン会もありました。

以上

第6回くるくる環境スクール「市民研究所プロジェクトチーム・チーム体験」

手作りおもちゃと環境PT 茶園 征也

令和元年8月10日(土) 10:00~14:00
プラザにて「第6回 くるくる環境スクール」が
開催されました。

- ①「吹田ごみ物語」編集プロジェクトチーム
 - ②エコイベントプロジェクトチーム
 - ③手作りおもちゃと環境プロジェクトチーム
- 今回活動の体験する対象は上記3チームでした。



①「吹田ごみ物語」編集プロジェクトチーム

はじめに、土屋所長から23年前に発行された「吹田ごみ物語」の背景など、当時の人口の増加とごみの収集量の増加について数値を紹介されて、千里ニュータウン入居開始後のごみ問題について説明されました。

続いてチーム員より現在までの活動内容をパワーポイントで説明されました。



このチームは編集作業が中心で他のチームのような学習支援がないため内容が理解されにくいところがあったようでしたが、スクール生には現在も地域で活動している人も複数おられて、具体的な質問などが出ていました。

②エコイベントプロジェクトチーム

はじめにチーム員より現在までの活動内容をパワーポイントで説明されました。

幅広い活動内容を分かりやすく説明されました。その後、リユース食器貸出センターに移動し、食器の種類や返却された食器の洗浄が衛生的にされていることの説明を受け、スクール生が感動していました。もっと多くのイベントでリユース食器の採用を望む声が聞かれました。



③手作りおもちゃと環境プロジェクトチーム

はじめにチーム員より現在までの活動内容をパワーポイントで説明されました。

平成30年度は小学校9校に述べ23回の学習支援でおもちゃ作りを指導したことを説明されました。

その後、牛乳パックを使って「十字プロペラ」を実際に作ってもらいました。皆さん童心にかえり楽しんでいました。指導には第1期スクール生の有馬さんにも加わってもらいました。



第7回くるくる環境スクール「市民研究所プロジェクトチーム・チーム体験」

エコイベントPT 阿部 節



令和元年8月24日(10:00~14:00)、第7回環境スクール(PT体験2)が開催された。9名のスクール生が参加。今回は「市民とお店をエコでつなぐPT」、「エコ体験PT」の活動内容説明と体験、昼休憩をはさみ「チームX」の活動内容の説明。

【市民とお店をエコでつなぐPT】

はじめに、4つの活動内容を説明。次に、主に小学校の環境学習支援として実施している3講座の説明スクール生が体験したのは、環境学習支援で実施している『風呂敷の包み方』。まず基本となる「一つ結び」、「真結び」を、色の違う二本の紐を使って練習、意外と苦戦したが、全員二つの結び方をマスターし、次、バンダナや風呂敷を使って、ペットボトル包み、ボール包み、本包み、買い物袋等々に挑戦、四角の布が変化するのは大変面白く、昔からある風呂敷は、リデュースでありリユースだと改めて感心。



ペットボトル包み

【エコ体験PT】

活動の動機や学習支援やイベント参加による活動内容の説明。子どもは、体験することでエコが身に付くのではと4種の実験やゲームを学習支援では実施している。

スクール生が体験したのは『生活の中のエコを考えるゲーム』。「私の行動は地球に優しいか、悪いか」を問うゲームです。

<問題>

Q 私は、二酸化炭素を出さない電気自動車に買い換えました。

Q 私は、使い慣れた古い冷蔵庫が故障したので修理して使います

Q 私は、きれいなものは食わずに残しています。など全部で9問挑戦しました。

一つの答えが絶対正しいとは限らず、大変難しく、どれも考えさせられる問題でした。皆さんはどのように考えますか???

【チームX】

2018年4月に発足。個人研究が主体で今回は椎橋さんの活動内容を伺った。14、5年前より植物の調査研究しておられ、スケッチブックに描かれた絵を見ながら話が進行。78年前に植物学者の三木先生がメタセコイアの植物遺体(化石I種)を発見、絶滅した種とされていたが中国で見つかり、アメリカで育成されたものが1949年日本へ。今では全国各地で植えられ大きく育った木を見ることが出来るそうです。本当に、とても貴重なお話を伺った。



メタセコイア葉

最後にスクール生への宿題だったどんなプロジェクトTが有れば良いかを、A、B、Cの3グループに分かれそれぞれ話し合い、発表した。

A ごみを少なくしよう

伝えていこう自分のできる事、みんなのできる事

B 自然にかえらない(化学)物質の将来世代へのつけ

シュレッダー紙、衣服の(化学物質)のゆくえ

C 感覚による河川調査

どのグループも具体的な内容を発表され皆さんのやる気が感じられました。ぜひ卒業後は市民研究員参加、お待ちしております。

市民研究所 11 月の予定

市民研究所 12 月の予定

| 日 | 曜 | 催し | 時間・場所 | 備考 |
|----|---|------------------------------|------------------------|--------------------|
| 1 | 金 | ごみゼロウォーク実行委員会 | 13:30~15:00 プラザ講義室2 | 実行委員・事務局 |
| | | 環境学習支援 | 14:15~15:15 東山田小学校 | 市民とお店を エコでつなぐPT |
| 2 | 土 | 第8回代表者会議 ニュース編集企画会議 | 13:15~15:00 プラザ講義室1 | 主担・代表者・ 事務局 |
| | | ごみゼロウォークスタッフ会議 | 10:00~11:30 プラザ講義室2 | 事務局・ボランティ アスタッフ |
| 3 | 日 | 文化の日 | | |
| 4 | 月 | 休館日 | | |
| 5 | 火 | | | |
| 6 | 水 | | | |
| 7 | 木 | | | |
| 8 | 金 | | | |
| 9 | 土 | 第18回万博ごみゼロウォーク 9:00~万博公園周辺道路 | | ● |
| 10 | 日 | | | |
| 11 | 月 | 休館日 | | |
| 12 | 火 | | | |
| 13 | 水 | 環境学習支援 | 13:30~14:30 千里丘北小学校 | 手作りおもちゃ と環境PT |
| | | 環境学習支援 | 13:15~14:30 佐井寺小学校 | 市民とお店を エコでつなぐPT |
| 14 | 木 | | | |
| 15 | 金 | | | |
| 16 | 土 | | | |
| 17 | 日 | くるくるオータムフェスタ 10:00~14:00 | | ● |
| 18 | 月 | 休館日 | | |
| | | 環境学習支援 | 14:35~15:35 藤白台小学校 | 手作りおもちゃ と環境PT |
| | | 環境学習支援 | 14:40~15:25 千里第一小学校 | エコ体験PT |
| | | 環境学習支援 | 14:45~15:45 千里第二小学校 | 市民とお店を エコでつなぐPT |
| 19 | 火 | | | |
| 20 | 水 | | | |
| 21 | 木 | | | |
| 22 | 金 | | | |
| 23 | 土 | 勤労感謝の日 | | |
| 24 | 日 | | | |
| 25 | 月 | 休館日 | | |
| | | 環境学習支援 | 14:40~15:25 高野台小学校 | 手作りおもちゃ と環境PT |
| 26 | 火 | 環境学習支援 | 14:50~15:50 豊津第一小学校 | 市民とお店を エコでつなぐPT |
| | | 環境学習支援 | | |
| 27 | 水 | 環境学習支援 | 13:30~14:30 千里丘北小学校 | 手作りおもちゃ と環境PT |
| 28 | 木 | | | |
| 29 | 金 | ごみゼロウォーク実行委員会 | 13:30~15:00 プラザ講義室2 | 実行委員・事務局 |
| 30 | 土 | | | |

| 日 | 曜 | 催し | 時間・場所 | 備考 |
|----|---|--|---|--------------------|
| 1 | 日 | 第9回代表者会議 | 10:00~ 講義室2 | 主担・代表者 事務局 |
| | | PT研究実践発表会 | 13:00~ 講義室2 | PT研究実践発表会 |
| 2 | 月 | 休館日 | | |
| 3 | 火 | | | |
| 4 | 水 | | | |
| 5 | 木 | | | |
| 6 | 金 | 環境学習支援 | 14:15~15:15 東山田小学校 | 市民とお店を エコでつなぐPT |
| 7 | 土 | 環境セミナー(未定) | 勤労者会館 | |
| 8 | 日 | | | |
| 9 | 月 | 休館日 | | |
| 10 | 火 | 環境学習発表会協議会 | 16:00~17:00 教育委員会 | 事務局 |
| 11 | 水 | 環境学習支援 | 13:15~14:30 佐井寺小学校 | 市民とお店を エコでつなぐPT |
| 12 | 木 | | | |
| 13 | 金 |  |  | |
| 14 | 土 | | | |
| 15 | 日 | くるくるクリスマス 10:00~14:00 | | ● |
| 16 | 月 | 休館日 | | |
| | | 環境学習支援 | 14:40~15:25 高野台小学校 | 市民とお店を エコでつなぐPT |
| 17 | 火 | 環境学習支援 | 14:35~15:35 藤白台小学校 | 手作りおもちゃ と環境PT |
| | | 環境学習支援 | | |
| 18 | 水 | 環境学習支援 | 14:20~15:20 吹田第一小学校 | エコ体験PT |
| 19 | 木 | | | |
| 20 | 金 | 第3回研究運営委員会 | 14:00~16:00 立命館大学 | 主担・執行役員事 務局 |
| 21 | 土 | | | |
| 22 | 日 | | | |
| 23 | 月 | 休館日 | | |
| 24 | 火 | | | |
| 25 | 水 | | | |
| 26 | 木 | | | |
| 27 | 金 | | | |
| 28 | 土 | | | |
| 29 | 日 | 休館日 | | |
| 30 | 月 | 休館日 | | |
| 31 | 火 | 休館日 | | |

□は、資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。

※予定は、変更する場合があります。